



田空だより

# なすの大地

第22号

2013年8月号(通巻22号)

那須野が原西部田園空間博物館運営協議会 発行

◎当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。当協議会は昨年度で創立10周年を迎えました。

## 1. 那須野が原西部田園空間博物館について

那須野が原西部地区（旧西那須野地区、旧塩原の横林・接骨木地区）の豊かな自然や疏水・開拓にまつわる史跡などを田園空間に広がる展示物（サテライト）に見たてて、地域そのものを「屋根のない博物館」としてとらえ、その地域に暮らす方々が中心となって保全・活用・復元し、地域の活性化を目指すもので、県内では唯一の博物館です。

## 2. サテライトについて

主なサテライトとして烏ヶ森神社・公園、乃木神社、三島神社、太夫塚神社、槻沢遺跡、親王台、接骨木の常夜灯などが挙げられます。サテライトには場所だけでなく、地域の祭りや伝統行事、人物（名人）なども含まれます。サテライトは地域ごとにフットパス（巡回ルート）で結ばれ、散策を楽しむことができます。



烏が森公園

太夫塚神社



乃木神社

親王台



三島神社



接骨木の常夜灯



## 3. フットパス（巡回ルート）の一例

○那須疏水さわやかルート 約5Km

那須野が原公園とサンサントワー→那須疏水探訪の小径→那須疏水第三分水→観象台（北点）→千本松牧場→萬歳閣（松方別邸）→赤田調整池→那須疏水記念碑→赤田山

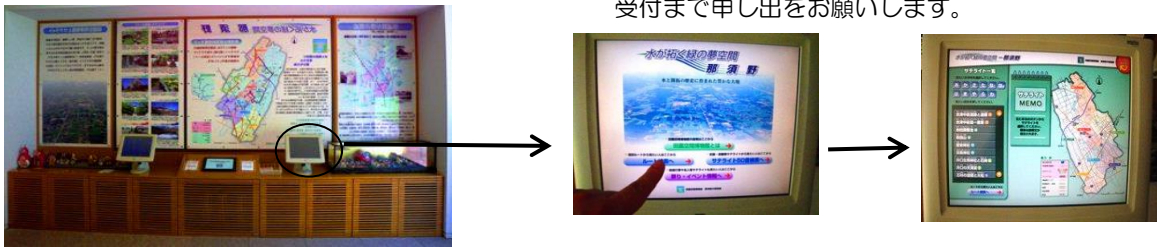
## 4. 「道標」について

右の写真をご覧ください。旧西那須野・横林・接骨木地区の方であれば、一度は目にしたことがあるかと思いますが、これはフットパスの道順を示す道標です。道標を目印にフットパスを巡ることができます。



## 5. 那須野が原西部田園空間博物館総合案内所について

那須野が原博物館と建物を共用しています。総合案内所のインフォメーションルームでは大型解説パネルやサテライトの写真展示、ビデオ放映、またタッチパネルによる田園空間博物館の案内等を行っています。 ※タッチパネル利用の際は、那須野が原博物館の受付まで申し出をお願いします。



## 6. 那須野が原西部田園空間博物館運営協議会について

田園空間博物館の豊かな自然や史跡を整備し、地域住民が主役となって保全・展示する地域づくりの活動を行うため、地域の住民を中心に関連団体の代表者を加え、博物館の運営を目的として、平成14年8月に設立されました。

## 7. 協議会の主な活動および参加募集（平成25年度）について

◎那須野が原ウォーク（10月5日開催予定）

那須野が原公園を中心に松方別邸、那須疏水探訪の小径、赤田調整池、サンサタワーなど周辺のサテライトを徒歩で巡る催しで、毎年開催し、多くの方にご参加いただいております。なお、コースの一部には普段では歩けないルートも含まれています。

9月より参加者の募集を行う予定ですので、興味のある方はぜひご参加下さい。



◎小学生サテライト絵画展（10月～2月開催）

博物館の対象地域内の小学校の5～6年生を対象にサテライトの絵画を現在募集しています。絵画の展示は西那須野産業文化祭会場、那須野が原公園などで行っておりますが昨年は下記のとおり栃木県庁でも絵画の展示を行いました。

本年も県庁での展示を予定しておりますので、ぜひ各小学校までご応募ください。

●栃木県庁展望フロア「県民の広場」での絵画展について

平成25年1月19日～24日の間、栃木県庁舎15階の展望フロア「県民の広場」にて絵画展を開催しました。会場にはご応募いただいた全児童の作品、合計82点を展示し、少しでも多くのサテライトを知ってもらうため、県内外の方へのPR活動を行いました。

また、併せて当運営協議会の活動内容や広報誌の掲示を行いました。



平成24年度入賞作品（全14点の一部）

※作者については5ページに記載しています



①



②



③



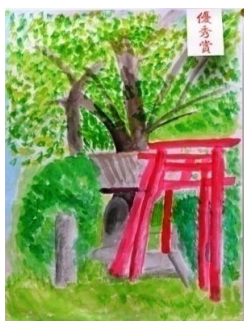
④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

### ◎サテライト見学会（11月23日開催予定）

当協議会関係者および小学生サテライト絵画展の出展者を対象に、例年サテライト見学会を実施しておりますが、本年度は広く市内の方から参加を募りたいと計画しています。募集は10月上旬から当協議会のホームページ（<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkuu/>）等で開始する予定です。なお、定員・コースについては現在調整中です。詳しくは運営協議会事務局 西那須野支所 産業観光建設課農林係（0287-37-5108）までお問い合わせください。



### ◎駅からハイキング「西那須野地区」（9月29日開催決定）

JR東日本が主催する駅からのハイキングを楽しむイベントで、協議会は共催での参加になり、本年は千本松牧場を中心としたエリアで開催します。昨年は紅葉の大山墓所参道、乃木神社などを散策し、参加者から大変な好評をいただきました。なお、こちらに関するお問い合わせは、西那須野支所 産業観光建設課商工観光係（0287-37-5107）までお願いいたします。



### ☆平成25年度協議会活動計画（通年）

1. 総会 5月28日 24年度事業・収支決算承認 25年度事業・同予算承認
2. 役員会 6月26日 25年度事業実施計画について
3. 企画広報部会、整備部会

会報22号発行（8/20）

駅からハイキング（9/29）

第10回那須野が原ウォーク（10/5）

西那須野産業文化祭会場にてサテライト絵画展・写真展（10/19～20）

那須野が原博物館 博物館フェスタにて展示活動（10/22～11/10）

サテライト見学会（11/23）

栃木県庁 県民の広場にて広報活動・サテライト絵画展（12月上旬）

那須野が原公園にて小学生サテライト絵画展（1月下旬～2月上旬）

会報23号発行（2月下旬）



総会の様子

## 那須野が原西部田園空間博物館運営協議会 創立10周年式典 開催

平成25年3月10日 那須野が原博物館研修室を会場として、開催いたしました。当日は大勢の関係者の方々にご出席いただき、盛大に式を開催することができました。小学生サテライト絵画展の入賞者および協議会活動の功労者が、松本忠太 運営協議会会長より表彰を受けました。また、下記のとおり記念講演会も開催され、会場には平成24年度の小学生サテライト絵画展の入賞作品全14点が展示されました。式典の開催に合わせて、当誌「なすの大地」の創刊号から第21号までを約80頁にまとめた「那須野が原西部田園空間博物館 10周年記念誌」を発行いたしました。なお、式典全体の内容としては次のとおりです。

### ①来賓祝辞

那須塩原市長 阿久津 憲二 様  
那須野ヶ原土地改良区連合理事長 渡辺 喜美 様  
那須塩原市議会議長 君島 一郎 様  
栃木県議会議員 阿部 寿一 様、相馬 政二 様、  
関谷 暢之 様  
那須農業振興事務所所長 安納 義雄 様



阿久津市長



渡辺理事長



君島議長



関谷議員

### ②平成24年度小学生サテライト絵画展 入賞者表彰

入賞者14名の内、9名の方が出席されました。

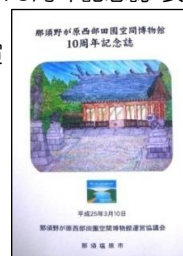
(敬称略、数字は3ページの絵画の番号)

最優秀賞 中野 朱理 (横林小学校) ⑤  
優秀賞 熊久保 朱里 (横林小学校) ②  
奥泉 伶菜 (三島小学校) ④  
島田 湧樹 (槻沢小学校) ③  
関口 裕仁、鯉沼 来人 (東小学校) ⑥、⑨  
中村 健、山田 悠華 (大山小学校) ①、⑧  
菊地 大成 (南小学校) ⑦

### ③功労者表彰 (敬称略)

元・前会長 井口 忠、安田 朝吉、小川 三郎  
元役員 稲垣 重弘、道音 一雄、小須賀 恒夫、千葉 政揮

10周年記念誌 表紙



裏表紙



### ④記念講演会 講師 那須野ヶ原土地改良区連合理事長 渡辺 喜美 様

「那須野ヶ原の過去・現在・未来」

※内容については裏面に記載しています

## 那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

### ◇問い合わせ先◇

Tel 0287-37-5108 (那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内)

### ◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkuu/>

### ◇検索方法◇

那須塩原市HP⇒くらしのインデックス：経済・中小企業⇒田園空間博物館

## 「那須野ヶ原の過去・現在・未来」

講師 那須野ヶ原土地改良区連合理事長 渡辺 喜美



このような機会を与えていただき、有難うございます。那須野ヶ原がどういう具合に変わってきたか、そしてこれからどのように変わっていくのかお話ししたいと思います。

那須野ヶ原は40,000haの広大な扇状地であるとともに、森林も沢山あります。那須疏水は日本三大疏水の一つで、この他にも先人によって開かれた疏水があり、これらをまとめたのが現在の那須野ヶ原の用水です。乳牛の飼育頭数は本州第1位ですが、一方で毎日大量の糞尿が発生しており、これをどう活かすかが大きな課題でもあります。

この那須野ヶ原に開かれた那須疏水には、背割り分水（水利権の割合に応じて、取水口の幅を決める）という特異な分水方法がありますが、これは自慢できることで、水利権を持っている農家は安心して農業に打ち込めます。

この地域は那須野が原西部田園空間博物館のエリアである主な開墾地で、明治時代の殖産興業で開拓が本格的になり、元勲や華族、地元の資産家が中心となり、大農場を建設する形の農業開発へと移行しましたが、実際の労働者は各地からの移住者でした。しかし、地域内には水源がなく、砂礫層で井戸を掘るのも容易ではありませんでした。

かつて那須疏水は土の堀で管理が大変でしたが、昭和42年から平成6年にかけて実施された那須野ヶ原総合開発により、那須疏水・藁沼用水・木の俣用水・新木の俣用水が統合され、管理しやすいコンクリート管の水路になりました。

深山ダムは観光資源でもあり、洪水防止支援機能等を備え、農業用水・発電用水として使用されています。那須水害の際にも、大量の雨水を貯水することができました。

疏水の洪水対策については、深山ダムの機能の次に、西岩崎頭首工で取水をカットする、さらには赤田・戸田調整池に貯水する、また幹線水路でも雨水をカットする、支線水路内の放水口でカットする等の4重、5重の防止機能があります。

これとは逆に地下水涵養（かんよう）に貢献する放水路もあり、冬場の地下水減少の防止に貢献しています。また、赤田・戸田調整池は「防災への基地」にもなっており、地域に貢献しています。

那須疏水は頭首工がある那珂川の生態系の保全に配慮し、農業用水の節水に取り組み、番水（交互通水）のシステムも取り入れ、平均取水量は土地改良区連合が持つ権利水より大幅に減少しております。この結果、那珂川では常に水が流れています。そのため鮎の漁獲高は全国的にみて減少傾向ですが、那珂川では増加しています。平成2年には全国で第3位でしたが、平成17年度には第1位になりました。

藁沼堰頭首工は大田原城下の飲用水路として慶長年間に開削されました。明治期の最初の西岩崎頭首工は近代化遺産の建造物としては栃木県で最初に国の重要文化財に指定されました。蛇尾川サイフンの旧施設も文化財指定を受けており、那須疏水の施設（田園空間博物館サテライト）を利用しての那須野が原ウォークも開催されています。

新しく移り住んでこられた方々と古くから住んでいらっしゃる方々との融合の為には、このように地域の歴史を共有することが早道と言えるでしょう。良好な景観形成支援事業も大切です。土地改良区連合では、生物多様性保全事業支援を行っています。

平成12年には農林水産省の田園空間博物館構想に那須野ヶ原西部地区が取り上げられ、今日の10周年記念式典の開催に至りました。これは「水と開拓の歴史に育まれた豊かな大地」があったからこそであります。歴史・史跡・遺跡・伝統・環境資源が田園空間博物館のコンセプトに合致し、展示施設・コア施設・サテライト施設・散策ロード等が作られ、更に関連施設・交流施設との連携の下、今日那須野が原西部田園博物館運営協議会は創立10周年を迎えたのです。

住民参加の方針、地域作りを元に博物館活動が進んでいるのです。

（※内容については誌面の都合上、一部抜粋の上、要約させていただいております。）